

平成30年度 全国学力・学習状況調査結果及び分析・対策（松江市立義務教育学校八束学園後期課程）

平成30年9月25日

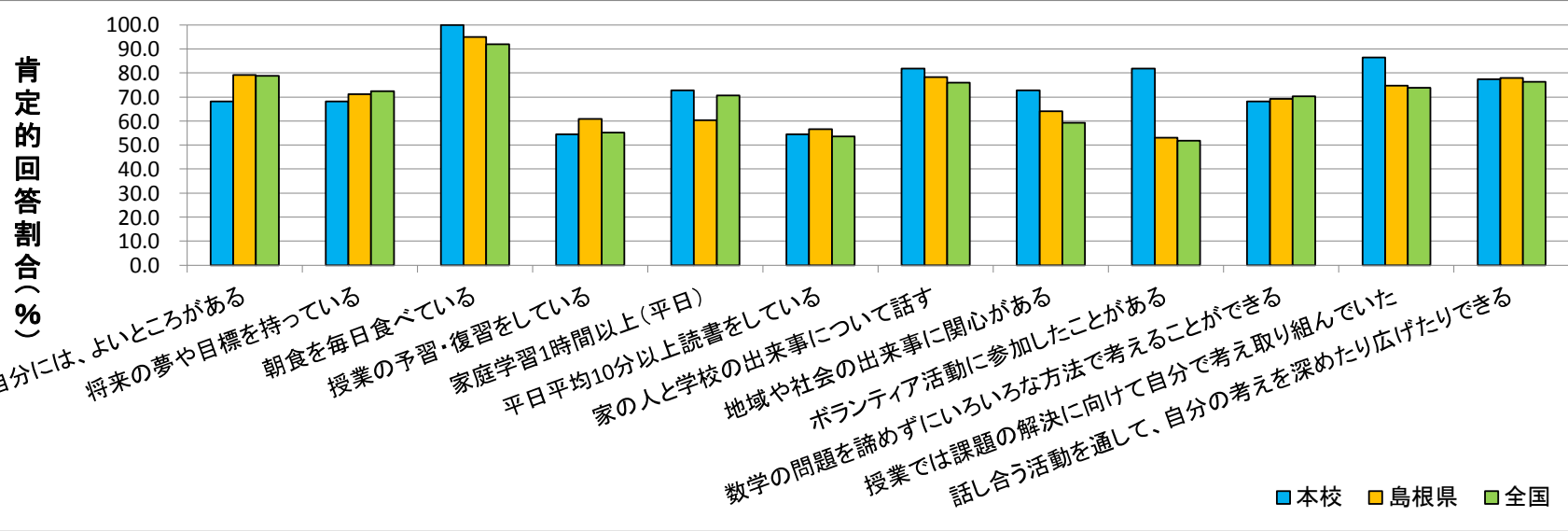
(1) 学力調査結果から見られた傾向

|    |           | 成果と課題(○：成果，●：課題)                                                                                | 対 策                                                                                                                       |
|----|-----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 国語 | A<br>(基礎) | ○書く能力、読む能力、言語についての知識・理解・技能は身についているといえる。<br>●目的に応じて文の成分の順序や構成を考えて適切な文を書くこと、特に主語を明確にして書くことが課題である。 | ・朝学習の時間などの読書指導を継続的に行う。<br>・根拠を明確にして述べる等、条件を設定して書く学習を計画的に授業に取り入れる。<br>・新聞記事などを利用して、内容を読み取る学習を定期的に行う。                       |
|    | B<br>(活用) | ○話の展開に注意し、質問の意図を捉えることができているといえる。<br>●目的に応じて文章を読み、内容を整理して書くことについては、十分な力が身につけていないことが課題である。        |                                                                                                                           |
| 数学 | A<br>(基礎) | ○全ての領域において、全国平均を上回っている。<br>●数と式の領域において、指数計算や、等式変形の仕方を理解していない生徒が多い。                              | ・各単元において、計算を指導する際に、既習事項の計算のきまりについて確認していく。                                                                                 |
|    | B<br>(活用) | ○全ての領域において、全国平均を上回っており、特に資料の活用が大きく上回っている。<br>●記述式の問題の無回答率が高い。                                   |                                                                                                                           |
| 理科 |           | ○全ての領域（物理、化学、生物、地学）において全国平均を上回り、理科の力が身につけているといえる。<br>●活用の問題を記述式で表現する十分な力がついていないことが課題である。        | ・自分の考えをまとめ、文章表現できるよう、レポートやノートを細かく点検し、指導する。良いものを紹介したり、ペアや班活動を取り入れて、考えがより深まるよう学習形態を工夫する。<br>・基礎基本の確認と発展的な内容の問題演習を定期的に取り入れる。 |

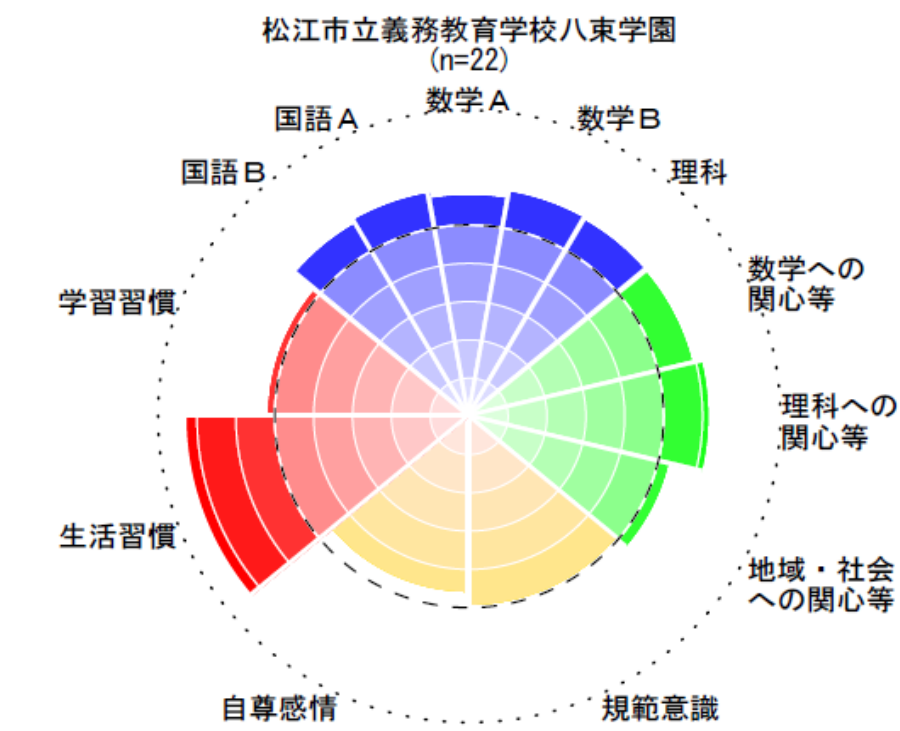
(2) 生活意識調査から見られた傾向

| 成果と課題(○：成果，●：課題)                                                                                                 | 対 策                                                                                                  |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ○7年生、8年生で取り組んだ「ふるさと学習」を通して、地域に関心や愛着を持ち、地域に貢献したいという思いを持っている。<br>●自分の考えや意見をまわりの人に説明したり発表したりする機会が少なく、自己肯定感が低い傾向にある。 | ・卒業後の進路を考える機会を設定する中で、自分が地域にどのように貢献できるかを考えさせる。<br>・各教科で自分の考えや意見を説明したり発表したりする場面を設定して、自己肯定感を高める機会を多く作る。 |

(3) 意識調査（学力との相関が指摘されているものや、教育委員会として注目しているものを挙げています）



(4) 学力調査及び生活意識調査から見られた傾向（破線は全国平均）



(5) その他、今後特に力を入れて取り組むこと

- ・学習コンクール（漢字・計算・英単語）を毎学期に実施し、基礎学力の定着を図る。
- ・リピートタイムで家庭学習の習慣化と一日の学習内容の定着を図る。
- ・定期テスト前には放課後学習会を設け、少人数できめ細かい指導を行う。

【参考】

| ○平均正答率 |   | （％） |    |    |      |
|--------|---|-----|----|----|------|
| 国語     | A | 81  | 76 | 76 | 76.1 |
|        | B | 67  | 61 | 61 | 61.2 |
| 数学     | A | 72  | 65 | 64 | 66.1 |
|        | B | 55  | 46 | 45 | 46.9 |
| 理科     |   | 72  | 65 | 66 | 66.1 |

受検者数 22 人  
※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受験者数をもって表示しています。